

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 235

2013年

11～12月号

## 行 事 案 内

### 11月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 11月10日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 秋も深まり、冬鳥たちで賑わう時期になりました。昨年は、40種が認められました。沼面の水鳥、葦原の小鳥たち、そして、上空の猛禽類と昨年以上の鳥たちが認められることを期待しましょう。  
解 散 正午  
担 当 船津

### 12月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 12月8日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 手賀沼が最も賑わう時期真っ最中です。近年、飛来数・種共に減少傾向のカモ達は今冬はどうでしょうか。小鳥やタカ類も期待しましょう。“ミサゴロウ”に伴侶ができたとの情報もあります。寒さの中、じっくり観察しましょう。  
解 散 正午  
担 当 松本

### 11月、12月ピオトープ調査

期 日 11月7日(木) 雨天延期  
12月5日(木) 雨天延期  
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分  
案 内 11～12月はカモ類、カモメ類、ミサゴ等のタカ類の飛翔も見られるようになり、ホオジロの他にアオジ、オオジュリン、ジョウビタキの鳴き声も聞こえるようになります。昨年は野鳥を11月16種、12月24種観察出来ました。この季節はサンカの花、草木の実が見られます。11月は乾田の二番穂を、12月は斜面林の黄葉、紅葉の風景を愛でながら探鳥をしましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。  
解 散 午前11時30分  
担 当 鈴木静治  
Tel : 080-3121-4757

### 福 島 潟 探 鳥 会 (再 掲)

期 日 11月17日(日) \*日帰り  
集 合 我孫子駅改札口 午前6時  
(6時12分発快速に乗車)  
案 内 3年振りに福島潟を訪ねます。オオヒシクイ、マガン、コハクチョウ、タゲリなどの大群の飛翔は全く

見事・・・の一言に尽き感動すら覚えます。また風景の素晴らしい沼には多くのカモ類が水面を埋め、それを襲う猛禽類も多く観察されます。年によっては、オジロワシ、シジュウカラガン、ハクガンなども観察されています。皆様も是非一緒に、大群の飛翔をお楽しみ下さい。

**交通** 上野発 7時6分「Max とき 303号」乗車。新潟駅で白新線に乗り換え豊栄(とよさか)下車。9時35分到着予定。タクシーで福島潟へ。

**費用** 23,000円程度  
**持物** 観察用具、雨具、防寒具、弁当  
**申込** 金子雅幸まで  
 Tel : 04-7133-6944

**担当** 田中(功)、金子  
 \*切符購入、詳細などについては、申込頂いた方に別途連絡致します。

---

### 涸沼探鳥会

---

**期日** 12月23日(月・祝) 雨天中止  
**集合** 我孫子駅北口 午前8時  
**案内** 年末恒例の探鳥会です。涸沼周辺から霞ヶ浦へと探鳥します。ホオジロガモ、ヨシガモなどの水鳥、猛禽類、小鳥など多くの鳥たちを観察できることが期待できます。昨年は、シロカモメ、マガンと想定外の鳥に出会いました。今年も出会えるかもしれません。お土産に涸沼特産の美味しい「シジミ」は如何ですか。

**交通** 自家用車分乗です。一人2,000円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提供可能な方は、その旨をご連絡下さい。

**持物** 観察用具、弁当・飲物(途中購入可) 雨具、防寒具  
**申込** 船津登まで  
 Tel : 04-7191-2297

**担当** 北原、船津

---

### 小見川・神之池・江戸崎探鳥会

---

**期日** 1月5日(日) 雨天中止  
**集合** 我孫子駅北口 午前8時  
**案内** 毎年恒例の新年探鳥会で、これまで正月3日に実施していましたが、今回から三が日は避け、第一日曜日の開催としました。探鳥コースは例年通りで、利根川堤防沿いの小見川の葦原～神之池(神栖市)～江戸崎(稲敷市稲波干拓地)の3箇所を回ります。猛禽類から水鳥まで多彩な冬鳥が楽しめ、目玉は葦原のチュウヒ、神之池のミコアイサ、江戸崎のオオヒシクイです。昨年はオオヒシクイが他のエサ場に行っており、空振りでしたが、今年は是非リベンジしたいですね。また、もう一度コショウゲンボウにも会いたいと思います。新たな出会いや思わぬ出会いを求めて、2014年の探鳥をスタートしましょう。

**交通** 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。  
**持物** 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)  
**申込** 桑森亮まで  
 Tel/Fax : 04-7182-3149

**担当** 松田、桑森

---

### 佐久・軽井沢探鳥会

---

**期日** 1月18日(土)、19日(日)  
**集合** 我孫子駅北口 午前8時  
**案内** 冬の軽井沢は6年振り、佐久は2年振りの探鳥会です。厳冬の軽井沢周辺で探鳥を、塩壺温泉で温泉を楽しみましょう。初日は佐久東電第一調整池でアメリカコガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ミコアイサ、カワア

イサなど水鳥、タカ類を探鳥し、その日は軽井沢・塩壺温泉で宿泊します。翌日、早朝朝食前、塩壺温泉・星野温泉周辺でミソサザイ、カワガラスなど水辺の鳥を探鳥し、朝食後、中西悟堂さんの銅像が入口にある国設軽井沢野鳥の森でアオゲラ、アカゲラ、ゴジュウカラ、ベニマシコなど、森林・草原の鳥を探鳥します。

交通 小型バス  
宿泊 塩壺温泉  
〒389-0111 軽井沢町軽井沢塩壺  
Tel : 0267-45-5441

費用 25,000 円程度  
人数 20 名  
申込 鈴木静治まで

Tel : 080-3121-4757

申込期限 11月15日

担当 古出、類地、鈴木

### 11月役員会案内

日時 11月10日(日) 13:30~16:30  
場所 水の館3階研修室  
議題 平成26年度上期行事計画について  
会報236号掲載予定記事について  
我孫子市民フェスタについて  
芋煮会と谷津田探鳥会  
第四回「守る会野鳥サロン」  
報告事項  
JBF実施報告  
第2四半期会計報告  
関係団体関連報告  
ホームページ運営委員会  
その他(議題のある場合は野口隆也までご連絡ください)

### 第三回「野鳥サロン」のご案内

第三回「野鳥サロン」を下記により開催します。今回は少し季節外れになりますが、「ヒメアマツバメ」を中心にツバメ類の生態や識別について紹介し、野鳥の繁殖環境や都市化など、自由意見交換をいたします。

野鳥サロンも三回目になり、定着するよう皆さんの参加をお待ちします。

日時 11月23日(土) 10:00~11:45  
場所 我孫子北近隣センター 並木本館  
会議室2&3

04-7157-4517(我孫子駅北口から徒歩7分)

テーマ 御茶ノ水で繁殖する「ヒメアマツバメ」について紹介し、ヒメアマツバメの生態、特徴 ツバメ類の識別 都市化する鳥など。

会費 一人300円(茶葉代ほか)  
担当 蒲田知子、北原建郎、桑森亮、小玉文夫

申込先 桑森亮  
Tel/Fax : 04-7182-3149

### 芋煮会

奇跡は今年も続くか!?

過去30年連続で雨天中止となった事が無い、年末恒例の行事「芋煮会」。

今年も、多くの参加者のもと、大いに飲み・食べ・語り楽しい一時を過ごしましょう!

今回も岡発戸・都部の谷津田で冬鳥を探鳥しながら会場へ向かう探鳥組と、会場へ直接向く直行組と致します。申し込みの際は、どちらのコースに参加されるかを申し出ください。常連さんはもとより、今まで参加されたことが無い方、ご家族の方々も大歓迎です。

期日 12月15日(日) 雨天中止  
集合(探鳥組) 東我孫子駅前 午前9時  
(直行組) 午前10時30分までに会場へ

参加費 大人1000円、中学生以下800円

会場 五本松公園キャンプ場

持参 汁椀、箸、おにぎり等。  
酒類の持込歓迎。

申込 金子雅幸まで  
Tel : 04-7133-6944

\* 定例探鳥会の折にも、申し込みを受け付けます。

\* 締め切り 12月10日

---

---

**第13回ジャパンバードフェスティバル  
(JBF2013) (再掲)**

---

期 日 11月2日(土)、3日(日)  
案 内 メイン会場は手賀沼親水広場で  
す。学生・NPO 団体は鳥博広場  
(鳥博駐車場)、講演・作品展は  
水の館、アビスタなど。  
当会の行事は鳥博広場テント、  
カップの噴水前テント、手賀沼漁  
協前テントの3か所で行います。

**<当会のJBF2013参加内容>**

「最近の探鳥会で出会った鳥たち」  
(鳥博広場テント)

新しく映像モニターと写真展示で野  
鳥を紹介します。

「パタパタ塗り絵と野鳥の塗り絵」  
(鳥博広場テント)

従来の塗り絵に新しくパタパタ塗り  
絵も加えて親子に楽しんで頂きます。

「庭に鳥を呼ぶ」(鳥博広場テント)

野鳥が好きな草木の実や餌を実物で  
紹介します。

湖畔バードウォッチング(カップの噴  
水前テント)

湖畔から望遠スコープを使用して手  
賀沼の鳥を見て楽しんで頂きます。

船上バードウォッチング(手賀沼漁協  
前テント)

船上から手賀沼の鳥と風景を楽しん  
で頂きます。

**<当会 JBF 会場の前日設営と当日参加の  
お願い>**

前日設営は11月1日(金) 13:30~

当会本部(鳥博広場テント)にご参集  
ください。

11月2日(土) 9:30~各テントへ

11月3日(日) 9:30~各テントへ

会員の皆様の積極的なご参加とご協力  
をお願いします。

**親子ふれあい探鳥会  
(手賀沼流域フォーラム参加企画)**

期 日 11月24日(日) 雨天中止  
集 合 手賀の丘公園どんぐりの家前  
午前9時30分  
解 散 正午  
案 内 一般市民を対象に、当会会員が山野  
と水辺の鳥を案内し、子供に探鳥の  
楽しみを伝える親子探鳥会です。野  
鳥ビンゴで特製野鳥カードや野鳥  
塗り絵セットがゲットできます。  
コースは手賀の丘公園~手賀沼~  
手賀の丘公園です。

参加費 無料  
定 員 30名(小学生以下は保護者同伴)  
申 込 野口隆也まで  
Tel/Fax: 04-7163-7898  
担 当 間野、松本、古出、桑森、相良  
田中(恒)、野口(隆)

**我孫子市民フェスタ**

期 日 11月30日(土) 10:00~16:00  
12月1日(日) 10:00~15:00  
案 内 上記の両日にわたり、我孫子市民フ  
ェスタ2013がアビスタ(我孫子市  
生涯学習センター)のほか手賀沼公  
園で開催されます。  
今回のテーマは、「やっぱりこの街  
が好き 未来に向けて 今やろう」  
で、このフレーズに因んで新たにテ  
ーマ館を設ける企画が検討されて  
います。  
当会も環境分科会に新企画を加え  
て参加いたします。  
新しい発見や人々との出会いが期  
待できるかも知れませんね。  
会員の皆さんも近隣の人達を誘っ  
て是非ご参加ください。  
担 当 田中(恒)、蒲田

## 統一クリーンデー・ふれあい清掃

手賀沼ふれあい清掃と美手連統一クリーン  
 デイに参加しましょう！  
 期 日 12月1日(日) 荒天の場合8日(日)  
 集 合 手賀沼公園多目的広場8時45分  
 開会挨拶 9時  
 清掃開始 9時15分 「根戸新田Bコース」

手賀沼公園～根戸新田（沼側歩道下）

清掃終了 10時30分  
 閉会挨拶 10時30分 参加記念品の配布、  
 ジャンケン大会  
 解 散 11時  
 担 当 金子（雅）、小澤  
 持 参 軍手、火バサミ等

## 行 事 報 告

### 8月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.8.11 9:00～11:00  
 晴 風弱 36

猛暑の中、15名の会員が集まり、探鳥班、  
 カウント班に分かれて定例探鳥会が行われ  
 ました。しかし、暑さの影響で鳥たちも葦原  
 の中に潜りあまり出てきませんでした。  
 それでもセッカだけは元気に鳴きながら飛  
 び回っていました。

熱中症にならないよう早め早めに切り上げ、  
 11時には鳥あわせも終わり解散しました。  
 <認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、  
 ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、  
 コバクチョウ、カルガモ、キジ、キジバト、  
 ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、  
 セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒ  
 ワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス

計 22 種

<探鳥班> 大久保陸夫、野口隆也、相良直  
 己、船津登、間野吉幸、畠中暁美、六角昭男、  
 金子雅幸、石渡成紀、松田幸保、田丸喜昭  
 （担当）北原建郎 計 12 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2013.8.11 9:05～11:46  
 晴 微風 33（終了時 39.2）

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	0	1	10

カワ	9	21	30
ダイサギ	3	2	5
コサギ	1	1	2
アオサギ	1	0	1
コバクチョウ	5	15	20
カルガモ	1	2	3
合計	20	42	62

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、鈴木静治、池田  
 日出男、船津登、北崎正典、北崎大翔

調査日時 2013.8.1 9:30～11:30

薄曇り 微風 30～31

雨の降りそうな薄曇りで気温も高く、遠く  
 は霞んでいました。ピオトープは雑草で覆わ  
 れ、繁みの鳥は見難いが水田の鳥、上空を飛  
 ぶ鳥は良く観察出来ました。観察した野鳥  
 15種。斜面林からは鳥の声の他に蝉の声が  
 よく聞こえました。蝶 9、蛾 2、蜻蛉 6、バ  
 ッタ 2、甲虫 2、カメムシ 3、蜂 1、クモ 4、  
 蛙 2、トカゲ 1、木の花 1、木の実 3、草の  
 花 10、草の花穂 3、蟹 1種も観察できまし  
 た。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、アオサギ、  
 キジ、キジバト、コゲラ、ツバメ、モズ、セ  
 ッカ、オオヨシキリ、シジュウカラ、カワラ  
 ヒワ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラス  
 計 15 種

## 9 月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.9.8 9:00 ~ 11:30

曇り 微風 28

早朝降っていた雨が、探鳥会時には上がっていたのはラッキーだった。

第 2 機場で観察中に獲物を持ったハヤブサ現れ、いつもの鉄塔の中段に止まって食事を始めた。食事が終わると再び狩りに出かけたようで見えなくなった。

ヒドリ橋でのカワセミ以外はさしたる収穫もなかった。お立ち台近くの田んぼでコンバインに集まるチュウサギを見ているうちに、雲行きが怪しくなってきたので探鳥を終了した。市役所での鳥合わせ中に雨が降り始めた。曇り空のおかげで暑さはまぬがれたが、オオバンにすら会わなかったのと、女性の参加者がゼロは驚きだった。手賀沼定例探鳥会でハヤブサに遭遇したのは 2 月以来だった。  
 < 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、ハヤブサ、キジ、バン、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セッカ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス 計 19 種 番外カワラバト

< 探鳥班 > 田中恒雄、大久保陸夫、野口隆也、浅野利幸、常盤孝義、北原建郎、小澤淳宏、谷山晴男、北崎正典、間野吉幸、佐々木隆、千葉洋、相良直己、桑森亮、小玉文夫、藤川敏彦、田丸喜昭、(インターンシップ体験) 野倉元雄 (担当) 松田幸保 計 19 名

< カウント班 > 木村稔、田中功、染谷迪夫  
 調査日時 2013.9.8 9:20 ~ 11:55

晴 南西・微風

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	5	1	6
カワウ	45	42	87
ゴイサギ	1	1	2
ダイサギ	6	3	9
チュウサギ	0	34	34
コサギ	1	2	3
アオサギ	3	4	7
コブハクチョウ	1	4	5
カルガモ	11	4	15
バン	0	2	2

オオバン	1	1	2
合計	74	98	172

< ビオトープ班 > 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、金子雅幸

調査日時 2013.9.12(予定の 9.5 は雨の為 9.12 に延期実施) 9:30 ~ 11:15  
 晴れ 無風 31 ~ 34

ビオトープは草が繁茂し、その中の野鳥は観察出来ない。また沼の水鳥も少なかった。主に飛ぶ鳥、木にとまる鳥、田の鳥を観察しました。沼岸で高鳴きするモズを初観察しました。観察した野鳥 10 種。ツクツクボウシの他に虫の声も聞かれるようになりました。他に蝶 11、蛾 2、蜻蛉 2、蜂 2、蝉 1、バッタ 5、カメムシ 1、クモ 1、蛙 2、木の花 1、木の実 5、草の花 15、草の花穂 12 種も観察できました。

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、チュウサギ、カルガモ、オオタカ、ツバメ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス 計 10 種

## 茨城南部 シギチ探鳥会

8 月 25 日

### オオハシシギとの再会！

吉田隆行

茨城南部シギチ探鳥会の募集があつという間に締め切られてしまい諦めていたところ 2 次募集があり幸いにも参加することが出来た。生憎この原稿を書く羽目になったのだが。

天気予報と違って、傘をさしての参加となり、しばらくは車のワイパーが大活躍であった。広がる田園は湿気を帯びてか色彩鮮やかでもあった。

配布資料によれば福木、生板、古河林、佐原組新田、手賀組新田、八千石、六角と車は進んでいるはずだが、車窓からの風景は殆ど変わらない。水を張った休耕田は幹事説明通り無い。それでも雨の上がった稲刈り後の田んぼでムナグロ、イソシギ、コンバインに群がるアマサギ等に会う。稲穂の上にはツバメやショウドウツバメが飛び交っていた。別の車の人はウズラシギを見たと後で聞く。

浮島の観察ハイドでオオセッカやコジュリンの声を聞きながら昼食をとる。空にはトビは飛んでいたがミサゴやチュウヒは見かけなかった。昼食後西の洲の水溜り(ため池?)に廻るとカイツブリが3羽ほど泳いでるのが見えた。餌があるのだろうか。浅瀬にはシギ類が集まって居た。一際大きな鳴き声、中野さんによればアオアシシギの声を間近で鑑賞できた。約10羽のオオハシシギが私的には感慨深いものがあった。と言うのは、丁度10年前の8月の定例探鳥会で私は入会し、その午後この茨城南部にデジカメの先輩達に連れて来てもらった。何で暑いさなか田んぼを見るのが良く分からなかった。ところが水を張った休耕田で1羽のオオハシシギに出会えたのだ。先着の会の先輩に入会の挨拶をしたら、”オオハシシギに会えて入会金の元を取れたね”とお祝いされた。その時の写真はPCのオオハシシギのフォルダーに削除されずに残っている。次の出会いは2010年8月の探鳥会であった。従って今回が3度目になる。当時は200万画素のコンパクトカメラ、その後400万画素のデジスコになり、10年経った今は1800万画素の一眼レフになっている。カメラの高画素化に伴い目と頭は過疎化と言うのが劣化が甚だしく、話相手の名前がふと頭から消えてしまい、話しかけるのが困難な時間が増えてきた。

閑話休題、しばらくするとオグロシギ、セイタカシギが同じ浅瀬に飛んできた。蓮田に廻ってタカブシギ、コアオアシシギ等をじっくりと観察した。隣接した稲刈り後の田んぼではサギ集団の中にシギを金子さんが発見した。識別する間もなく2羽は飛んで行ってしまった。飛び立ちを潮に我々も帰路に就く。

いつもの水と緑のふれあい公園で鳥合わせをやると、何と42種にもなった。いつもと違って暑い日差しも無く、汗ばむことも無い快適な探鳥会であった。個人的には老いを感じる探鳥会でもあった。

#### 【幹事報告】

悩みながら決行をきめたが、茨城は天気予報に反して雨だった。前年と同じルートを進むうちに小止みになり、最初の主ポイント佐原組新田では雨も上がり、昨年ほどの数ではなかったが、コンバインにまといつくアマサ

ギ群を見ることができた。

六角でムナグロ、ウズラシギを見たあと、予定どおりに浮島でオオセッカ、コジュリン、セッカを楽しみながら昼食をとることができたのは幸いだった。

今回の目玉ポイント、西の洲干拓の工事敷地はため池状になっていてカイツブリが泳いでいた。下見で見たオオハシシギ、アオアシシギが健在で、しばらく観察しているうちに他のシギ類も飛んできてくれた。アオアシシギの美声が印象的だった。

その後、西の洲の数ポイントを回って帰路につき、水と緑のふれあい公園で鳥合わせをして解散した。雨模様が幸いして、暑さを回避できた一日だった。車には撥ねがあがったと思います、提供者の方ありがとうございました。

<認めた鳥>カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、ミサゴ、トビ、キジ、コチドリ、ムナグロ、トウネン、オジロトウネン、ウズラシギ、オオハシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、タカブシギ、イソシギ、オグロシギ、セイタカシギ、キジバト、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、モズ、オオセッカ、オオヨシキリ、セッカ、コジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計42種 番外カワラバト

<参加者>鈴木静治、大久保陸夫、小山雄司、野口隆也、浅野利幸、金子雅幸、吉田隆行、千葉洋、千葉史子、中野久夫、相良直己、間野吉幸、池田日出男、田中恒雄、船津登(幹事)松本勝英、松田幸保 計17名

---

### 白樺峠・乗鞍岳探鳥会

9月20日、21日

---

小山雄司

前回の鷹柱行きは登山道がきつく、撮影現場に座っても息を整えるのに時間を要し、先着の同行者が思い思いにシャッターを切っている姿に怨めしく感じて、もう二度と来たくないと思いました。しかし、もっと楽な

道もあると野口さんから初めて聞かされ、思わずベンジすべく重い腰(腰痛)を上げる事にしました。

ふれあい広場を定刻6時30分出発、参加者16名にて和気藹々のバス中談義、双葉SA～松本IC～コンビニと道の駅「風穴の里」で食料調達、トイレ休憩後、白樺峠パーキングに12時50分頃無事到着。楽な登りと普通のコースを二手に分かれて各自行動開始、一度も道端で休まず20～30分位で所定の場所に到着思わずホットしました。しかし眼の前に所狭しと三脚をセットしたバーダー約50人以上に改めてびっくり、人気の高さに驚きました。各自昼食を摂りながら撮影する人、眼も衰え遠くの鷹柱を横目に見ながら昼食の小生、色々でした。前回に懲りて今日は動画を主に撮ろうとカメラをセットしたのですが目標が遠くに映り、倍率を上げると液晶画面からすぐに外れてしまうので思うように撮れません。そうこうするうちに鷹柱もバラけ、当初の目的とは裏目になり散々の有様。そこへヒラヒラとアサギマダラチョウが現れ、他のバーダーもカメラのシャッターチャンスに一服の清涼剤になりました。他にもアカタテハ、ヒョウモンチョウ、セセリチョウも飛び回って楽しませてくれました。15時過ぎでしょうか突然地から蚊が湧くようにサシバが現れ、流れるように山間に沿って南の方へ飛んで行く姿に驚きの一瞬、たちまちシャッター音が広場に響き渡りました。何とも素晴らしい光景に動画を撮るのも忘れ暫く見蕩れてしまいました。パッチリした眼も双眼鏡で良く見えましたし何も言う事ありません。

駐車場を16時20分出発し、今晚お世話になる滝見館に到着後、入浴・賑やかに夕食と歓談、皆さん今日の成果に満足してお開き。食後改めて幹事の部屋に集合し、定番?の二次会を女性2名が参加してワイン・地酒を飲みながら体験談等野鳥も含めて四方山話に花が咲きました。明朝の行動予定もあり、名残り惜しみながら21時半頃お開きになりました。

翌21日早朝、善五郎滝へ観瀑と探鳥しながら往復、宿舎付近でキジバトを見た程度で鳥影・鳴き声も耳には入りませんでした。ただ、同行しないで宿舎付近を探鳥した中根さ

んと鈴木さんが、シジュウカラ・ゴジュウカラ他をカメラに収めたそうです。

朝食後、快晴の空を背景に今日一番の目玉「雷鳥」が現れるのを期待して畳平へ9時出発。道路は空いていて順調に走り、鶴ヶ池を通過して駐車場に無事到着。各自支度をして大黒山への階段迄来ると、丁度上からカメラを持ったグループが降りてきたので、早速聞いてみますと「雷鳥を撮りましたよ」との事。金子さんに様子を話して大黒山へ向かいましたが、最初から階段の連続に足もヨロヨロ、もつれるように青息吐息で進みました、やっと平地になりホットすると眼の前にイワヒバリが現れたのです。そしてカメラマンにポーズを見せるような大サービス、皆さん大満足でした。11時頃展望台に到着、眼の前に広がる大パノラマに感激、左の方から槍ヶ岳・常念岳・焼岳・浅間山と青空の下に見事な風景でした。お目当ての雷鳥には下山するまで会えなかったのですが、展望台で見た山々の姿を見られただけでも充分満足でした。

下山後、乗鞍岳登山口下で昼食、浅野さん達がホシガラスを見たと言うので旅館「白雲荘」周辺を探鳥、遠くに松の実を食しているのでしょうか二羽発見、移動している姿をカメラに収めたのですが帰宅後確認しますと残念な事に200mmズームとコンバーターレンズでは遠すぎて物にならず、証拠写真程度の仕上がりで残念でした。12時40分頃駐車場を出発、途中車内で鳥合わせをしました。34種(その後2種追加し36種)と聞こえました。その後、道の駅「風穴の里」～釈迦堂PA～三芳SA～大泉JC～和光ICにきて事故で大渋滞。ドライバーさんが大変な苦労して一般道路を迂回し越谷～岩槻へ出たものの、私はその後寝入ってしまい我孫子駅(21時15分頃)に到着するまで全然気が付きませんでした。ドライバーさん・幹事の金子さん・桑森さん、大変な事態に直面し、さぞやきもきしたことでしょう。とも角全員無事に帰着出来た事に感謝します。有難う御座いました。

#### 【幹事報告】

二日間、素晴らしい秋晴れに恵まれた探鳥会でした。初日は13時前に白樺峠タカ見の広場に到着。早速、ハチクマが出迎えてくれ

ました。この日はハチクマが多く見られ、サシバは少し遅く15時過ぎから短時間に集中して100~200羽が山から湧き出す感じで次々に出現し、タカ柱も見られました。「信州タカの渡り調査研究グループ」のカウンタ速報によると、この日はサシバ483、ハチクマ115、ノスリ9、ツミ10、その他3計620羽が飛んでいます。当会のこれまでの白樺峠探鳥会では最も多くのタカが見られ、タカの渡りが堪能できたのではないのでしょうか。

二日目、乗鞍高原温泉の宿周辺の早朝探鳥ではカラ類など小鳥が見られ、近場の観光名所「善五郎の滝」の景観も楽しみました。その後、乗鞍エコーラインから豊平に到着、大黒岳などを散策、目玉の雷鳥は出ませんでした。乗鞍岳、周辺の北アルプス等々の雄大な山脈のパノラマが楽しみました。

<認めた鳥> カルガモ、ハチクマ、トビ、ツミ、ノスリ、サシバ、ハヤブサ、キジバト、ハリオアマツバメ、アマツバメ、アカゲラ、コゲラ、イワツバメ、キセキレイ、ヒヨドリ、イワヒバリ、カヤクグリ、ウグイス、オオルリ、サメビタキ、エゾヒタキ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、スズメ、ムクドリ、カケス、ホシガラス、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計36種  
<参加者> 間野吉幸、小澤淳宏、鈴木幸子、弘實さと子、鈴木静治、中野久夫、鈴木裕爾、小山雄司、小玉文夫、古賀嗣朗、浅野利幸、中根忠、百瀬喬、松田幸保  
(幹事) 金子雅幸、桑森亮 計16名

## 第二回 守る会野鳥サロン

9月6日(金)、第二回野鳥サロンが我孫子北近隣センター並木本館で開催され、当日参加も含め21名の方が寛いだ雰囲気の中、鳥談義に華を咲かせた。

まず担当の小澤さんと石渡さんが「鳥の渡りについて」と題して、渡りをするのは日中か夜間か？どんなルートを使って渡るか？どの様にして渡る道を見つけるか？渡る時のスピードは？高さは？等説明が行われた。中には、小鳥が地球規模の偏西風や貿易風を

巧みに使って渡る例や、小鳥の場合など脂肪1gの消費で200km以上飛ぶ例などが紹介された。又、ハチクマやサシバなど衛星を使った追跡で、ほとんどピンポイントで繁殖地と越冬地を移動している事実なども語られた。

続いて金子(幸)さんと金子が「ことわざと鳥」と題し、出現頻度の高いカラスと鳶を取り上げて話をした。カラスの知能を示す脳化指数(脳の重さ/体重)の高さが他の鳥、動物と比較されたり、大きな鳶が少し小さなオオタカよりも何故軽く見られるか等が数字も含め説明された。説明の間にも、話に沿って参加者から色々なお話・エピソードなども次から次へと紹介され、話はどんどん膨らんで会場は大いに盛り上がり行った。

この他に、今はあまり使われない「鳥目」についてや、鳥が何故飛べるかを骨・筋肉・羽等の重量を示したり、鳥自体の重さ比較なども話題となった。

今回もあっという間の2時間であったが、映像がなかった事で若干説明が理解しにくい部分もあったかな…が反省点とされる。

(金子雅幸)

<参加者> 間野吉幸、野口隆也、染谷迪夫、畠中暁美、古出洋子、橋本了次、田中恒雄、千葉洋、弘實さと子、桑森亮、青木典子、川越久枝、松田幸保、小玉文夫、類地佑子、松下勝子、蒲田知子、(担当)石渡成紀、小澤淳宏、金子幸子、金子雅幸 計21名

## 9月役員会報告

日時 9月8日(日) 13:30~16:10  
場所 我孫子北近隣センター並木本館  
会議室3

1. JBF2013 出展について  
出展内容、業務分担についてグループリーダーが各ブース内容を報告、了承。ブース内容などは(再掲記事)参照。入会案内パンフレットを2,500部用意。
2. 会報235号掲載予定記事について  
資料に基づき、検討のうえ決定。  
原稿は9月末締切。

3. 我孫子市民フェスタについて  
11/30(土)、12/1(日)開催の支援体制を決定。
4. 第三回「野鳥サロン」について  
資料に基づき検討し、了承。  
日時、場所などは行事案内記事参照。
5. 報告事項  
JBF 第3回実行委員会の報告  
・当会の出展場所等は昨年と同様  
美手連関係の報告  
・手賀沼基金の活用
- 手賀沼流域フォーラム  
・10/19(土)水の館で講演会(山階鳥研の林所長、間野会長)  
・11/24(日)手賀沼親子ふれあい探鳥会を手賀の丘公園で開催  
第二回「野鳥サロン」(参加者21名)  
以上

## 寄稿

### 布佐周辺の冬の鳥見(その1)

朝にベニマシコ、夕にコミミズク

鈴木静治

#### 1. ベニマシコ(紅猿子)

冬の寒い日、枯れ葦原で赤い可愛い小鳥を見るのは楽しいものです。平地で見られる小鳥のうち皆さんが憧れ、人気一番の小鳥はベニマシコと思います。我孫子、柏、印西周辺では手賀沼、谷津田、手賀川、利根川、印西市の別所等の葦原で、11月から4月迄見ることが出来ます。私が行くのは利根川河原の「ゆうゆう公園」東端、川岸に柳の大木の生える湿地です。ここには枯れた葦、セイタカアワダチソウ等に枯れた蔓性のヤイトバナ、イシミカワ、スズメウリ、クズ等が絡む繁みがあります。ベニマシコは繁殖地の北海道より渡ってきてここで越冬するのですが、渡ってきてすぐの11-12月は草の繁みよりセイタカアワダチソウの小さな種子を食べに人前にもよく出てきますが、1月頃になりますと、内気な性格からなかなか出てきません。居るか居ないか葦原で耳を澄ませば今まで聞こえなかったフィッホ、フィッフィ、と小さい鳴き声が断続的に聞こえますので、慣れると分かるようになります。葦原、草、木の繁みを鳴き声が移動しますが、なかなか姿を現しません。我慢して2時間位待つと、5-10分姿を見せてくれます。それでシーズン中はベニマシコのよく出る場所に頻繁に通うこととなります。この場所は朝、利根川河原をランニングしていた2009年頃、たまたま通りかかりアトリ、カシラダカを見つけた場所で、近所の鳥好きの人とスコープで覗いたらアトリと共に赤い鳥ベニマシコが見られましたので、それ以来5年間1-2回/週見に行きます。10-12時頃よく姿を現します。朝早く行ってもあまり見られません。ベニマシコは他の小鳥より少し寝坊かもしれませんね。11-2月はセイタカアワダチソウの種子、ヤイトバナの実等草の実を食べていますが、3-4月柳の若葉が出る前、花穂が出る頃、花穂を食べるため柳の細枝にとまりますので観察しやすい時期です。一面の黄色の花穂の中に花粉で嘴を真っ黄色にした雄の赤色、雌の薄茶色が見えるとベニマシコと分かります。この花穂が無くなる頃、繁殖地の北海道まで約1000kmもの距離を渡るので、エネルギー補給のため食べるのに余念がありません。柳の小枝が重なる中にあるのでなかなか写真撮影は難しいようです。ベニマシコはアトリ、カシラダカと違い大群を作らず雄雌数羽で行動していることが多いようです。なお、ベニマシコを待つ間に、カシラダカ、シメ、アトリ、モズ、タゲリ、チョウゲンボウ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ハヤブサ、ノスリ、トビ、カワウの雁行、マガモの大群等が、周辺で楽しめます。繁殖地の北海道道東の原生花園で2010年6月に見たベニマシコは冬より真っ赤な羽になり、まさに「紅い猿子」で、一度見ると心に焼きつけられ忘れません。またチャンスがあれば、繁殖地での様子を良く観察してみたいものです。

## 2、コミミズク(小耳木菟)

午前中は利根川河原にベニマシコを見た後、一休みし、夕方、手賀川周辺の二番穂の田へコミミズクを探しに行きます。2011年12月～2012年1月千間橋の田で、2012年12月～2013年3月下沼田、千間橋の田で見られました。コミミズクは以前、布佐の利根川対岸の利根町でよく見られたようです、また本会会員の久保さんの話ですと、以前中沼田、千間橋の低地集水路周辺で観察されたとのこと。私がコミミズクに初めて気がついたのは、2011年12月7日夕暮れ時16-17時手賀川堤防のランニングから帰る途中、千間橋の低地集水路近くの田の上でタカ2羽が喧嘩しているのが見られました。いつもチョウゲンボウ、ノスリ、ハヤブサが近くの鉄塔にとまっている所なので、タカの喧嘩と思ったのです。ところがそのうちの1羽がなんと私のいる手賀川堤防の上空を飛んだのですが、見ると顔がタカの顔でなく、パラポアンテナの丸い顔でした。はじめビックリしましたが、2007年3月25日、2010年2月28日五霞町、2011年1月22日渡良瀬で見ていたのと、久保さんが以前に見られたことがあるとの話を思い出し、コミミズクも手賀川周辺にも来るようになったと感激しました。それ以来そのシーズンは千間橋の二番穂の田に2～3羽出るようになり、手賀川沿いの道は鳥見、カメラマンの車が20-30台も並び壮観でした。今シーズンも12月～1月見られ、2月は見られず、3月に再び姿を現しました。12月～1月は昨シーズンと同じく千間橋の手賀川沿いの二番穂の田に15:30～17:00に2～3羽姿を現しました。勿論鳥見、カメラマンも多いのですが、日没前夕暮れに飛び回るコミミズクの姿は優雅な光景であった。この辺りはハシボソガラスの縄張り、杭にとまるノスリの縄張りとは重なるためか飛来したコミミズクを2羽のハシボソガラスがモビングし、共に上空高く飛んで行くことがありました。またノスリと飛びながら争う光景も見られました。コミミズクの好物はハタネズミで、ノスリの好物と同じため獲物の取り合いになるようです。2013年1月14日大雪の翌々日1月16日、雪原を飛ぶコミミズクを見ようと15:30頃行ったところ、コミミズクは飛んでいませんでした。ガッカリしましたが、雪の積もった田の畦道にダルマさんのようなものがありましたので、スコープで見ますと休んでいるコミミズクAであった。日没後、暗くなっても頸を動かすのみで私が帰るまで1～1.5時間その場所を動かさませんでした。暫くすると運よく、他の一羽コミミズクBが飛んで来て雪原を飛び回ってくれ、白い雪原の中のコミミズクの飛翔を楽しむことができました。この時は残雪が多く自動車では入りにくく、自転車で見に来た3人のみでノンビリ観察できました。日没後このコミミズクBも雪原にとまり、殆ど動かなくなりました。その後1月24日1羽飛ぶのが見られたのを最後に、この田では姿を見られなくなりました。田起こし、野焼き等があり二番穂の田が少なくなり、獲物のハタネズミが少なくなったせいでしょう。今シーズンはもう見られないと思っていたところ、なんと3月8日夕方、下沼田周辺の千間橋の二番穂が所々に残る田の上を飛ぶコミミズクが再度見られました。予想もしない出現で1月半ぶりに戻ってきたこととなります。翌3月9日には夕方17時頃二番穂の田の上を飛んだ後、姿が見えないので田の畦付近を探してみると、なんと田の畦の杭の上に止まっていました。杭から日没後30分以上動かず、私の方が先に帰ることにしました。家に帰り写した写真をみると、コミミズクの羽角、「小耳」が立っているではありませんか。今まで「小耳」は見たことがなかったが、やっと見ることが出来ました。羽角が立つのは休んでいる時に見えるようです。更に翌3月10日我孫子で打ち合わせの帰り、夕方17時頃薄暗い強風の中、下沼田の田より飛び出したものがありました。そして田の畦に止まりました。連日見ているのでコミミズクとすぐ分かりました。写真を写し見ると、人相ならぬ鳥相より1月16日雪の日にみたコミミズクAと似ています。更に3月11日15時30頃、下沼田へ行くと2羽のコミミズクが飛んでいました。この時期、二番穂の田は少なく所々しかない。コミミズクは広範囲を飛び餌のハタネズミを探しているようです。飛んでいる1羽は鳥相が1月16日雪の中で見たコミミズクBと似ているようです。この日は、夕暮れ時コミミズクの飛翔を2時間程楽しむことが出来、満足して帰りました。その後姿が見られなくなり、3月21日夕方18時頃暗い中、発作の林のフェンスより飛び出す物体を見

ました。私が前進するとその物体も飛びフェンス近くの木にとまりました。更に私が進むと飛び立ってしまいました。うす暗い中でしたが、顔つきがパラボラアンテナ状であったことよりコミミズクと分かりました。これがこのシーズン、コミミズクを見た最後の日になりました。3月末から4月初めには田起こしが始まり、田植え準備に入るためこの辺りでは餌のハタネズミが獲れないため他の場所、更には繁殖地のオホーツク、シベリアに向けて飛び立ったのでしょう。 <以下次号に続く>

## 鳥 だ よ り

- |   |  |
|---|--|
| 7.21 [北新田] クサギ (1) 越流堤池から飛立<br>中野久夫                             | 8.28 [北新田] アオサギ (1) 鳴きながら飛翔<br>中野久夫                |
| 7.28 [布佐平和台] フウゲノホウ (1) 上空高く飛ぶ<br>鈴木静治                          | 8.29 [北新田] フウゲノホウ (1) 電柱から飛去<br>中野久夫               |
| 7.28 [北新田] コシキリ (1) 休耕畑で囀り<br>中野久夫                              | 8.29 [高野山] ヒ (2) 飛翔<br>平岡考                         |
| 7.29 [北新田] コシキリ (2) 休耕畑で囀り<br>中野久夫                              | 8.30 [発作] フウゲノホウ (3) 急風の中、3羽で上空を飛び回る<br>鈴木静治       |
| 7.30 [北新田] クサギ (2) 越流堤池から飛立<br>中野久夫                             | 8.30 [発作] フウゲノホウ (2) ハジトガヲ 9羽に追われる<br>鈴木静治         |
| 7.30 [北新田] コシキリ (2) 休耕畑で囀り<br>中野久夫                              | 8.30 [北新田] フウゲノホウ (1) 飛翔<br>中野久夫                   |
| 8.01 [都部新田] ヒ (1) 上空高く飛ぶ<br>鈴木静治                                | 8.31 [千間橋] フウゲノホウ (2) 鉄塔上段にとまる<br>鈴木静治             |
| 8.01 [北新田] コシキリ (1) 休耕畑で囀り<br>中野久夫                              | 9.01 [北新田] クサギ (2) 4号排水路と越流堤池で<br>中野久夫             |
| 8.08 [北新田] クサギ (1) 4号排水路で<br>中野久夫                               | 9.02 [北新田] クサギ (1) 越流堤池から飛立<br>中野久夫                |
| 8.11 [手賀沼辺] ハヤブサ (1) 上沼辺 1<br>染谷迪夫・飯泉仁・飯泉久美子                    | 9.03 [北新田] クサギ (4) 越流堤池から飛立<br>中野久夫                |
| 8.12 [布佐平和台] ヒ (1) 住宅・田上空を滑空<br>鈴木静治                            | 9.03 [高野山] ヤマガラ (1) 水浴<br>平岡考                      |
| 8.15 [千間橋] フウゲノホウ (1) 鉄塔中腹より飛ぶ<br>鈴木静治                          | 9.05 [下沼田] フウゲノホウ (1) 電柱から田に飛ぶ<br>鈴木静治             |
| 8.17 [布瀬新田] ウズラ (1) 15:47、遊歩道脇の草地から飛び出し、畑地近くに飛翔し移動<br>飯泉仁・飯泉久美子 | 9.05 [布瀬新田] フウゲノホウ (2) 鉄塔下部にとまる<br>鈴木静治            |
| 8.18 [北新田] クサギ (1) 4号排水路で<br>中野久夫                               | 9.05 [北新田] ヒ (1) 電柱上<br>中野久夫                       |
| 8.19 [北新田] クサギ (1) 4号排水路で<br>中野久夫                               | 9.06 [手賀沼] ヒ (1) 沼上空を通過<br>安野昌彦                    |
| 8.23 [千間橋] フウゲノホウ (1) 鉄塔中程にとまる<br>鈴木静治                          | 9.09 [北新田] ヒ (2) 杭上<br>中野久夫                        |
| 8.23 [布瀬新田] フウゲノホウ (4) 電線、電柱にとまる<br>鈴木静治                        | 9.11 [布佐] ヒ (1) 川の上を飛ぶ<br>鈴木静治                     |
|   | 9.12 [岡発戸新田] オオカ (1) 上空を通過<br>鈴木静治・間野吉幸・金子雅幸・池田日出男 |
|   | 9.12 [下沼田] ヒ (3) 刈られている田の上空を鳴きながら旋回する<br>鈴木静治      |

- 9.12 [布佐平和台] チョウケ`ンホ`ウ(3) 高压鉄  
塔上を鳴きながら飛翔 鈴木静治  
9.13 [手賀の丘公園] ヤマガ`ラ(1) 木の枝を  
渡る 安野昌彦  
9.14 [下沼田] チョウケ`ンホ`ウ(1) 田の上を飛  
ぶ 鈴木静治  
9.15 [片山新田先手賀沼] チョウケ`ンホ`ウ(1)  
14:25、田んぼ上空で杓`リング`  
飯泉仁・飯泉久美子  
9.15 [相馬新田] チョウケ`ンホ`ウ(2) 上空を 2  
羽並んで飛ぶ 鈴木静治  
9.19 [北新田] クサヅキ` (3) 越流堤池から飛  
立 中野久夫  
9.19 [北新田] 兀` 舂(2) 落し堀の土手で  
中野久夫

【 ツミの繁殖観察記録 】

- 7.21 [柏市南部] ツミ(2) 9:48~10:10、成鳥  
雄、雌各 1 羽が出現、雄が雌に餌を渡し  
た後、雌は巣に入り抱卵 飯泉仁  
7.24 [柏市南部] ツミ(1) 9:20、巣の中で雌  
が抱卵中 飯泉仁  
7.24 [柏市南部] ツミ(1) 9:49、雄個体が抱  
卵を交代 飯泉仁  
7.24 [柏市南部] ツミ(1) 10:12、雌が抱卵  
飯泉仁  
7.24 [柏市南部] ツミ(1) 10:31、抱卵中の個  
体が巣に外に出て、カスを追尾 飯泉仁  
7.28 [柏市南部] ツミ(1) 10:39、雌個体が抱  
卵中 飯泉仁  
8.04 [柏市南部] ツミ(1) 8:50、雌が抱卵中  
飯泉仁  
8.10 [柏市南部] ツミ(1) 9:10、巣に座り込  
んで抱卵(育雛)中 飯泉仁  
8.11 [柏市南部] ツミ(1) 8:40、巣に座って抱  
卵(育雛)中、時折背伸び行動 飯泉仁  
8.11 [柏市南部] ツミ(1) 9:25、雌が鳴きなが  
ら巣の外に出る(雄から餌を受け取り?)  
飯泉仁  
8.11 [柏市南部] ツミ(1) 9:35、雌が巣の脇の  
枝で羽づくろいし、その後巣に戻る 飯泉仁  
8.18 [柏市南部] ツミ(1) 10:15、雌が巣に帰  
還し再び抱卵(育雛) 飯泉仁・飯泉久美子  
8.18 [柏市南部] ツミ(1) 8:50、雌が抱卵(育  
雛)中 飯泉仁  
8.18 [柏市南部] ツミ(1) 9:53、雄が巣から

- 10m程度離れた枝に飛来 飯泉仁  
8.18 [柏市南部] ツミ(1) 10:02、雌が林の外  
に出かける 飯泉仁  
8.24 [柏市南部] ツミ(1) 9:05、雌がヒメを持  
って巣に帰還 飯泉仁  
8.24 [柏市南部] ツミ(1) 11:09、雌が巣から  
木の枝に移動(雄から餌を受領?) 飯泉仁  
8.24 [柏市南部] ツミ(1) 11:12、雌が巣に帰  
還し 2 羽の雛に給餌 飯泉仁  
8.25 [柏市南部] ツミ(1) 10:48、雌が餌を巣に  
持参した際、2 羽の雛の頭が見えた 飯泉仁  
8.25 [柏市南部] ツミ(1) 11:12、雌が巣に帰  
還し 2 羽の雛に給餌 飯泉仁  
8.28 [柏市南部] ツミ(2) 10:03、雄が餌を運ん  
できて鳴いて雌を呼び、餌を受け渡す 飯泉仁  
8.28 [柏市南部] ツミ(1) 10:05、雌がカラス  
を追尾し林の外に追い出す 飯泉仁  
9.01 [柏市南部] ツミ(1) 10:05~10:46、成  
鳥雌が枝に飛来し、巣を警戒 飯泉仁  
9.01 [柏市南部] ツミ(1) 10:56~雛が巣の  
中で休んでいた 飯泉仁  
9.02 [柏市南部] ツミ(3) 9:15、成鳥雌が餌  
を巣に運搬し、2 羽の雛に給餌 飯泉仁  
9.02 [柏市南部] ツミ(1) 9:15~9:50、成鳥雌  
が巣の脇の枝に止まり、周囲を監視 飯泉仁  
9.02 [柏市南部] ツミ(1) 10:10、カスを追尾  
し、林の外に 飯泉仁  
9.07 [柏市南部] ツミ(3) 9:05、雛 2 羽(第二綿  
羽から幼羽に換羽中)と成鳥雌 1 飯泉仁  
9.07 [柏市南部] ツミ(2) 9:33、巣には雛 2 羽、  
成鳥雌は巣から離れた枝に周囲を警戒  
飯泉仁  
9.08 [柏市南部] ツミ(2) 8:51、巣の脇の枝  
に幼鳥 2 羽 飯泉仁  
9.08 [柏市南部] ツミ(3) 9:56、成鳥雌 1 羽  
が巣から離れた枝に飛来、幼鳥 2 羽は巣  
の脇の枝で休んでいた 飯泉仁  
9.08 [柏市南部] ツミ(1) 10:09、巣の近くを  
通過した兀`ホ`ウガ` カスを鳴きながら追尾し、  
林の外に追いやった 飯泉仁  
9.08 [柏市南部] ツミ(1) 10:09~10:33、幼  
鳥 2 羽が枝で羽づくろい 飯泉仁  
9.11 [柏市南部] ツミ(1) 15:03、成鳥雌がカ  
スを追尾しながら林の外に渡去  
飯泉仁・飯泉久美子  
9.15 [柏市南部] ツミ(1) 10:11、雨の降る中、  
巣の脇の枝に止まっていた

飯泉仁・飯泉久美子  
9.15 [柏市南部] ツミ(2) 11:01、巢の近く枝  
に幼鳥2羽が止まった

飯泉仁・飯泉久美子  
9.15 [柏市南部] ツミ(1) 11:25、雨の止み間  
に翼を広げて日光浴

飯泉仁・飯泉久美子  
9.16 [柏市南部] ツミ(2) 14:12、幼鳥2羽が鳴  
きながら林内を移動 飯泉仁・飯泉久美子

9.16 [柏市南部] ツミ(2) 15:04、幼鳥がセミを捕  
食し、枝で食べていた 飯泉仁・飯泉久美子

#### 今回寄せられた鳥の全種名

アオアシシギ、アオサギ、アマサギ、イソシ  
ギ、イソヒヨドリ、ウグイス、ウズラ、エナ  
ガ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オ  
ナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワ  
セミ、カワラヒワ、キジ、キジバト、クサシ  
ギ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コ  
チドリ、コブハクチョウ、コヨシキリ、サシ  
バ、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、  
セッカ、ダイサギ、タシギ、タマシギ、チュ  
ウサギ、チョウゲンボウ、ツバメ、ツミ、ト  
ビ、ノビタキ、ハクセキレイ、ハシブトガラ

ス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒバ  
リ、ヒヨドリ、ホオジロ、ムクドリ、ムナゲ  
ロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ヨシゴイ  
計 55 種  
<番外種> アヒル、カワラバト、コジュケイ、  
バリケン

#### 今回の投稿者の総投稿件数

安野昌彦	46
松本勝英	1
染谷迪夫・木村稔・田中功	23
中野久夫	52
飯泉仁	282
飯泉仁・飯泉久美子	95
平岡考	8
鈴木静治	241
鈴木静治・間野吉幸・金子雅幸 ・池田日出男	12
鈴木静治・猪爪敏夫・池田日出男 ・船津登・北崎正典・北崎大翔	15
総計	775

(浅井久)

<新入会員紹介> 百瀬 喬(柏市) 関口小夜子(我孫子市)

**訃報** 当会会員の柴本三弘さんがご病気のため、9月14日ご逝去されました。  
故人のご冥福を心よりお祈りし、謹んでお知らせいたします。

### ほーほーどり No.235 (2013年11~12月号)

発行 2013年11月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1154 我孫子市白山3-8-16-104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏1001-5 野口隆也 Tel 04-7163-7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)